

科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	機械3年	科目コード	37100130
科目名	国語 Japanese				
担当教員	西 一夫				
単位数(時間数)	必修 通年 2単位 (60時間)	学習・教育目標との対応		(A-1)	
授業の目的と概要	1・2年で学習した知識を基礎に、各自が興味・関心を持つ分野の知識を広げ、深める。具体的には、近現代の文学作品や評論を批評的に読んで自己の思考を深め、表現の工夫や国語に関する基礎的な知識技能の向上に努める。古典作品では、作品の特色や伝統的な言語文化に対する理解や表現技法を理解し、各自の思考や表現の基盤形成の向上に努める。				
先修科目	国語				
後修科目	国語 ,文学				
備考	音声資料や映像資料なども活用しながら授業は展開される。よって、積極的な授業への参加が期待される。なお、一部の教材にグループ学習を取り入れる予定である。				
	<b>授業項目</b>	<b>時間</b>	<b>内容</b>		
1	ガイダンス	2	1年間の授業予定と学習方法を理解する。		
2	都市に秘められている自然(加藤幸子)	6	現代社会の状況とそこに内在する問題を理解し、社会・自然に対する問題意識が高められる。		
3	地図の言語と東西南北(樋口覚)	6	視覚的資料とそれに基づく言語表現のありようを理解し、思考の基本的な手法を理解する。		
4	三舟の才(大鏡)	2	古代の学問知についての理解を深め、表現法の特徴から人物のに対する理解を深める。		
	<b>前期中間試験</b>				
5	小諸なる古城のほとり(島崎藤村)	4	地域の文学作品に対する理解を深め、韻文作品の鑑賞方法が理解できる。		
6	からだで味わう動物と情報を味わう人間(伏木亨)	6	人間が持つ思考と動物的な身体面での問題を理解し、論理の構成に従った論理展開が理解できる。		
7	漢詩・和歌	4	漢詩・和歌の基礎的知識を習得し、鑑賞する態度を身につけて親しめる。		
	<b>前期期末試験</b>				
8	「顔」をさしだすということ(鷲田清一)	6	哲学的な思考方法と表現技法の特殊性を理解できる。		
9	折々のうた(大岡信)	4	詩歌表現の鑑賞技法についての理解を深める。		
10	居住空間における日本的なもの	6	日本的な美意識を把握し、普遍的な価値観を理解する。		
11	離さない(川上弘美)	8	小説の技法と主人公の心情を理解し、小説の鑑賞方法が理解できる。		
12	若紫上(源氏物語)	6	古典作品の表現を理解し、登場人物の心情が理解できる。		
	<b>学年末試験</b>				
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	日本語(国語)の特徴と運用・活用のあり方について自己の課題意識と摺り合わせて理解が深められ(60%)、これに基づいた運用・活用を実践的にこなうことができる(40%)ことで、学習・教育目標(A-1)の達成とする。				
成績評価	前後期の定期試験(3回)(75%)、小課題(10%)、漢字小テスト(15%)で評価する。 100点満点により評価し、6割以上を獲得した者を合格とする。				
教材	授業資料:現代文2,精選古典(大修館書店) 漢字小テスト:内田満編「高校生の漢字(改訂版)」,京都書房(プリント配布)				
オフィスアワー	月曜日授業終了後				